



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

令和3年10月26日(火)
広瀬川せせらぎ緑道との交流会 編

10月26日に岩手県北上市で活動している風景街道「広瀬川せせらぎ緑道」との交流会が行われました。昨年度から交流を検討していましたが、県境を越えての移動に制限があったことや、オンラインではなく、直接会って話したいということではなかなか実現できずにいましたが、コロナ禍が収まってきた今しかない！とようやく開催することができました。

はじめに木材高度加工研究所で渡辺先生、広瀬川せせらぎ緑道事務局長の山下さん、事務局の小田島さん、岩手河川国道事務所の寺山課長、南波係長、大森技官、能代河川国道事務所の久留嶋の7名で、それぞれの活動紹介や活動を継続する上での課題や方策などについて意見交換しました。

広瀬川せせらぎ緑道は、のしろ白神の道と同じく平成19年度に登録され、月1回の広瀬川の清掃や広瀬川行燈夜祭(あんどんナイト)などの活動を行ってきています。広瀬川の清掃は400mと長区間に至りますが、北上市の土木会社の地域貢献活動として協力を頂きながら継続しています。広瀬川行燈夜祭は北上市からの委託金や地元企業からの寄付等で運営し、1,500~2,000人も集客するイベントです。秋田県から西馬音内の盆踊りも参加しているそうです。

活動の課題として、構成員の高齢化や運営資金の創出などがあげられました。また、シーニックバイウェイ北海道にあるような各ルートの情報共有や事業提案などができる支援団体の存在も必要では？との意見もあげられました。今後も交流を重ねながら、お互いに助け合えたらと思います。

次に、昼食を兼ねて街道カフェ「夢工房 咲く咲く」にて、能代代表と懇談しました。その中で、のしろ白神の道は「のしろまち灯り」の後援でスギ製の灯籠を灯しており、広瀬川せせらぎ緑道では「広瀬川行燈夜祭」で行燈を灯しています。灯り繋がりで互いのイベントに灯籠を持ち出し合うなど、何かコラボできないかの意見がでました。今年の広瀬川行燈夜祭は中止となっていますが、早速、11月13日に予定されているのしろまち灯りに行燈を展示することになりました。

今回の交流会をとおして、姉妹街道である福島県の「城下町あいづ道草街道」とのように、ゆるく長く協力し合える繋がりが広がればと思っています。

文：久留嶋 智一



能代で木製防護柵塗装イベントを考案・実行して下さった寺山さんからお話をいただき、温めること1年。お互いに見えることを見つけて、実行できるとよいですね。今後も宜しくお願いします。



街道カフェでは、イチ推しの能代うどんなどを召し上がっていただきながら、灯り交流のお話が進みました。この先「市」での物産交流もできたら、活動も参加者も裾野が広がるのではないかと思います。